

# うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.511

平成22年1月



ウォーキング～あぶくまの水源を歩こう～（古殿町：鎌倉岳遊歩道）

## 目次

●新年のごあいさつ……………	2	●第4回【水土里ウォークin・きたかた2009】を開催……………	11
●第32回全国土地改良大会……………	3	●第6回【あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォーク】を開催……………	11
●Ⅰ.平成22年度農林水産関係予算概算決定の骨子……………	4	●水土里ネット福島に対するアンケート調査結果……………	12
●Ⅱ.平成22年度農林水産関係予算概算決定のポイント……………	5	●福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会表彰式並びに活動事例発表会開催……………	14
●福島県予算編成に対する要望活動を実施……………	6	●平成21年 秋の叙勲……………	14
●農業農村整備事業の推進に向けた10項目の提案活動を実施……………	6	●土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業について……………	15
●金子参議院議員と農業農村整備事業に対する意見交換会を開催……………	6	●土地連日誌……………	15
●政府への働きかけ要請……………	7		
●農業用水水源地域保全対策事業の活動報告……………	8		

活力ある農業・農村づくりを  
お手伝いします



水土里ネット福島



## 新年のごあいさつ

みどり  
水土里ネット福島  
(福島県土地改良事業団体連合会)

会長 植田 英一

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご壮健で輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

また、本会の業務運営、農業農村整備事業の推進につきましては、常日ごろ特段のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今の農業農村を取り巻く状況は、国際的な食料需給が中長期的に逼迫すると見通されるなか、安全・安心な国産農産物に対する消費者ニーズの高まりがあるものの、農業従事者の急激な高齢化や担い手の減少などにより、耕作放棄地の増大が進行しております。

また、このことは、病虫害や防災上の問題ばかりでなく、地域の農地・農業水利施設の維持・保全の粗放化までも引き起し、極めて深刻な問題となっております。

食糧の需給バランスを安定させ、食糧の安定供給を図るためには、優良農地を確保するとともに、耕作放棄地の発生を未然に防止、解消することが強く求められております。

このような問題を打開するためには、消費者に自然・安全・本物の農産物を届けるという農業の本来の使命を果たしながら、低コストで農業収益を確保することが出来る、ほ場の大区画化、さらには輪作体系の確立に向けた暗渠排水などによる水田の汎用化を最優先で構築していくことが必要であり、このことは、当然のことながら、担い手農家や集落営農の育成がこれまで以上に進展し、更なる地域営農の活性化に繋がっていくものと確信しております。

このため、本会といたしましては、食料の安定供給を支えるための生産基盤の整備はもとより、農地を有効利用するための水土里情報の活用や施設管理の省力化を図るためのストックマネジメント事業に積極的に取り組んで参ります。

また、農地や農業用水などを適切に保全していくための「農地・水・環境保全向上対策」につきましても、地域の共同活動への支援や環境に優しい営農を推進するための水質モニタリング調査をはじめ、学校教育とも連携しながら、ともに様々な活動を進めて参ります。

このような農業農村整備事業の実施にあたりましては、役職員一丸となり邁進する所存でありますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご発展を心よりご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

# 第32回全国土地改良大会

## 島根大会開催される

平成21年10月28日(水)から29日(木)まで、全国水土里ネット及び水土里ネット島根の主催により「第32回全国土地改良大会」が「国引のロマン、水土里の思い。神話の郷から今、未来へ。」をテーマに、島根県松江市「くにびきメッセ」で、全国から土地改良関係者、約3,000名が参加して盛大に開催された。

本大会では、農業農村の重要性とそれを支える農業農村整備の役割を広く国民にアピールするとともに、「水・土・里」の想いを再確認し、国のかたちづくり、地域づくりについて確認しあった。



全国水土里ネット会長挨拶

式典では、水土里ネット島根の青木幹雄会長が開催県挨拶、全国水土里ネットの野中広務会長が主催者挨拶、溝口善兵衛島根県知事が歓迎挨拶、郡司彰農林水産副大臣が祝辞を述べ、続いて土地改良事業功労者表彰式が行われた。



会場風景 福島県の出席者

福島県からは、長年に亘り土地改良事業の推進に多大のご尽力をいただいた長谷川道吉会津若松市湊土地改良区理事長(本会理事)が全国土地改良事業団体連会会長表彰を受けられました。

農業農村の振興に向けた優良活動事例地区の紹介、農林水産省農村振興局の斎藤晴美次長より基調報告、さらに大会宣言。



影山さんと丸田さん

大会宣言では、島根大学(生物資源科学部)の影山浩樹さんと丸田恵理さんが、健全な「水」「土」「里」を守ることにより、「食料」「水」「エネルギー」の資源供給を担うばかりでなく、「国土」を保全する重要な責務をも担う者として、国民の負託と信頼に一致団結して応えていく。と宣言した。

大会旗の引継ぎでは、次期開催県である長崎県の紹介とともに、宮本長崎県土地連会長へと引き継がれた。(長崎大会は平成22年10月26日予定)

最後に全国水土里ネットの吹田副会長の閉会の挨拶では、政権が変わっても我々の仕事は変わるものではない。一致団結して前へ進もうと呼びかけがあり、満場の拍手をもって閉会した。

# I. 平成22年度農林水産関係予算概算決定の骨子

## 1. 総括表

区 分	21年度 予 算 額	22年度 概算決定額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算総額	25,605	24,517	95.8
1. 公共事業費	9,952	6,563	65.9
一般公共事業費	9,760	6,371	65.3
災害復旧等事業費	193	193	100.0
2. 非公共事業費	15,653	17,954	114.7
一般事業費	6,993	6,355	90.9
食料安定供給関係費	8,659	11,599	133.9

- (注) 1. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
2. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

## 2. 公共事業費一覧

(単位：百万円、%)

事 項	21年度 予 算 額	22年度 概算決定額	対前年度比
農業農村整備	577,220	212,939	36.9
林野公共	260,925	187,030	71.7
治 山	99,190	68,833	69.4
森林整備	161,735	118,197	73.1
水産基盤整備	119,860	82,227	68.6
海 岸	17,965	4,900	27.3
農山漁村地域整備交付金	—	150,000	皆増
一般公共事業費計	975,970	637,096	65.3
災害復旧等	19,250	19,250	100.0
公共事業費計	995,220	656,346	65.9

- (注) 上記のほか、地域再生基盤強化交付金措置額を内閣府に計上。

## Ⅱ. 平成22年度農林水産関係予算概算決定のポイント

### 1. マニフェストの推進

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| (1) <b>戸別所得補償制度のモデル対策</b> | 5,618億円 |
| ・ 水田利活用自給力向上事業            | 2,167億円 |
| ・ 米戸別所得補償モデル事業            | 3,371億円 |
| ・ 戸別所得補償制度導入推進事業等         | 80億円    |
| (2) <b>農山漁村の6次産業化対策</b>   |         |
| ・ 未来を切り拓く6次産業創出総合対策       | 131億円   |

### 2. 事業仕分けの反映等

- (1) **公益法人等の基金**について、今後の執行見込みを踏まえた残高の精査等を行い、40基金、3,046億円を国庫返納。  
※今後の基金の執行状況等により金額等に変更があり得る。
- (2) **食料安定供給特別会計（農業経営基盤強化勘定）**の剰余金・積立金について、486億円を一般会計に繰り入れ。  
 農業改良資金貸付金等について、国の資金の有効活用を図るため、同会計からの原資貸付方式から一般会計からの利子補給方式へ変更
- (3) **公益法人向け補助金等**について、天下り等の指摘を踏まえ、対前年度40%程度削減（▲108億円）  
※基金の国庫返納に伴い毎年度予算措置することとした事業に係る金額を除く。  
**独立行政法人向け補助金等**については、対前年度6%程度削減（▲226億円）
- (4) **施設費補助金**について、対前年度30%程度削減（▲328億円）
- (5) 目的・手段が類似・重複する**事業を整理・統合**  
 ・ 経営体育成交付金（81億円）  
 ・ 農畜産業機械等リース支援事業（27億円）等
- (6) 地域の自主性を活かし、より地域の実情に即した事業実施が可能となるよう**新たな交付金制度を創設**  
 ・ 農山漁村地域整備交付金（1,500億円）  
 ・ 鳥獣被害防止総合対策交付金（23億円）等
- (7) 公共事業のうち、**国直轄事業の負担金制度**について  
 ・ 維持管理負担金について、受益者負担を維持しつつ、県負担分を廃止  
 ・ 営繕宿舍費及び人件費等の事務費を負担金から除外

## 福島県予算編成に対する要望活動を実施

平成21年9月17日（木）に本会は、自由民主党福島県支部連合会・県民連合・公明党福島県議会議員団に対し、平成22年度県予算編成に対する要望活動を実施、要望内容は下記のとおり。

### 要望内容

1. 福島県第6次長期計画等における農業農村整備事業の計画的かつ円滑な推進について
2. ほ場整備事業の推進について
3. 農地・水・環境保全向上対策の推進について
4. 農業用水利施設の維持・補修・更新事業の推進について
5. 農業集落排水事業・資源循環施設整備の推進について



## 農業農村整備事業の推進に向けた10項目の提案活動を実施

平成21年11月30日（月）～12月1日（火）にかけて本会植田会長、若松副会長、歌川副会長、茂木専務理事が農林水産大臣、副大臣、政務官、農村振興局及び県選出国會議員に対し、農業農村整備事業の推進に向けた提案活動を実施、提案内容は下記のとおり。

### 要望内容

1. 農業農村整備事業の予算確保について
2. 農業農村整備事業の積極的な展開について
3. 農政改革のための基盤づくりの強化について
4. 農道整備事業の継続実施について
5. ストックマネジメント事業の拡充について
6. 土地改良施設維持管理適正化事業の拡充について
7. 農業集落排水事業の強化について
8. 小水力発電整備事業の強化について
9. 農地・水・環境保全向上対策事業への支援強化について
10. 水土里ネットへの支援について
  - ① 組織体制強化への支援について
  - ② GISシステムの運用管理及び活用への支援強化について
  - ③ 施設管理技術者育成への強化について



## 金子参議院議員と農業農村整備事業に対する意見交換会を開催

平成21年10月15日（木）、土地連役員室において、金子参議院議員と本会役員が、「今後の農業政策等に係る勉強会」を実施しました。

はじめに、金子参議院議員より民主党が目指す、農政の基本的姿勢や方向性等について、お話を聞かせていただき、その後、農業農村整備事業の推進をどのように進めていくべきか等の意見交換を行いました。

役員室での意見交換会



## 政府への働きかけ要請

政府、与党の土地改良事業費半減方針を受け、本会植田会長は、「農業の基本ともいえる土地改良の意義が十分に理解されていない。予算が削減されれば耕作放棄地が増え、農業・農村の維持が困難になる」等の危機感から22日、県議会に対し、予算確保を政府や関係機関に働きかけるよう、県庁で佐藤憲保議長に請願書を提出しました。

佐藤議長は、「看過できない事態であり、予算が確保されるよう県議会としても努力する」と述べられた。



予算確保に向けた対応を要請

### 農業農村整備事業の予算確保について

本県は、豊かな地域資源や恵まれた自然環境を活かし、我が国有数の食料供給基地として、高品質で安全・安心な農産物の生産に努めると共に、常に国の政策に呼応しながら各種事業の推進に取り組んで参りました。

しかしながら、今日の農業・農村を取り巻く環境は、農産物価格の低迷や農村の過疎化、担い手の高齢化、後継者不足等の進行により耕作放棄地が増加し、更には混住化の進展等から集落機能が低下するなど、農業・農村の健全な維持発展が困難な状況になってきております。

このような状況を踏まえ、安全・安心で安価な農産物を安定的に供給するために必要な生産基盤の整備や国土保全等農村が持つ多面的機能を持続的に発揮させるために必要な農村基盤の整備、並びに生活環境基盤の整備・向上を図るため、農業農村整備事業に係る諸施策の積極的な展開や各種事業に対する支援措置を講じるとともに、そのために必要な予算を確保することを政府及び関係機関に対して強く働きかけるよう請願いたします。

平成21年12月22日

福島市南中央三丁目36  
福島県土地改良事業団体連合会  
会長 植田 英一

福島県議会議長 佐藤 憲保 様

## 農業用水水源地域保全対策事業の活動報告

### 6月7日(日) 「唐倉の里」学習会開催

会場：南会津町木伏「木伏農村公園」  
主催：南会津農林事務所

先人達の森林開墾や隣接する伊南川を堰き止め、農業用水として活用したこと。また、CO<sub>2</sub>削減に寄与する「森林」、「川」、「田畑」の重要性について学習した。

水質の現況調査や生き物調査を体験し、農業用水水源地域の整備の重要性や昔ながらの保全方法の大切さ、継続の必要性を理解した模様です。



堰の話など



生き物調査

### 7月25日(土) 「西根堰の隧道探検」を開催

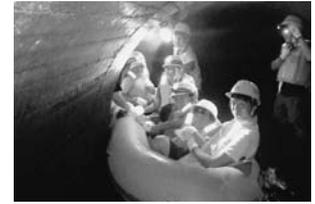
会場：福島市「上堰頭首工及び隧道、下堰頭首工」  
主催：水土里ネット福島

先人達が築き上げた土地改良施設の歴史や農業用水の役割、水の大切さとその水を支える水源林との関わり、また、CO<sub>2</sub>削減に寄与する「森林」、「川」、「田畑」の重要性について学習した。

水質の現況調査の後は、上堰頭首工から赤根田水門までの約700mの隧道内をボートで下る体験、下堰頭首工を見学し、土地改良施設の役割を理解した模様です。



水質検査



隧道探検

### 7月4日(土) 「千軒平溜池施設」見学・学習会を開催

会場：いわき市四倉町「袖玉山構造改善センター」  
主催：いわき農林事務所

溜池設置までの経過や、CO<sub>2</sub>削減に寄与する「森林」、「川」、「田畑」の重要性について学習した。

通常入ることができない管理施設内の見学では、人力操作による水量調節がいかにお大変か学び、農業用水水源地域の整備が重要であり、管理のお大変さを感じました。



溜池の話など



管理施設内で水量調整状況

### 7月26日(日) 「第2回 大深沢ダム大作戦」を実施

会場：喜多方市塩川町「大深沢ダム」  
主催：雄国山麓土地改良区

参加者全員でゴミ拾いを実施した結果、空き缶やビン、釣り糸などのゴミが多数を占め、改修したゴミは軽トラック2台分となる。

清掃後は花の植栽、ダムに住む魚の調査を実施し、水産試験場職員より、近年問題となっている外来魚に関する説明を受けた。

ゴミ清掃を通じ水管理の大切さを学んだ1日でした。



作業風景



植栽風景

### 7月5日(日) 第7回 治右衛門の堰「あじさい祭り」を開催

会場：いわき市平「いわき市立夏井小学校」  
主催：愛谷江筋愛護会

江戸時代初期（約330年前）に作られた愛谷江筋の保全と水路敷の緑化促進を目的に開催した。

水路沿いに咲くあじさいロードウォーク（2kmと4km）や、手作りボートによる水路下り、魚つかみ等、参加者が楽しみ、水の大切さや水路の必要性、重要性を感じていました。



ウォーキング風景



ボートで水路下り

### 8月29日(土) 「第14回 ふるさと表郷まつり」を開催

会場：白河市表郷「表郷総合運動公園」  
主催：ふるさと表郷祭り実行委員会

会場内は、動物とのふれあい広場や巣箱を親子でつくる体験コーナー、地域食材の販売などがあり、大変な賑わいでした。

土地改良区の展示コーナーでは、水源地域のパネルを掲示するとともに、パンフレットや啓発資料等を配布し、「森と水の大切なのはたらき」についてPRしました。



土地改良区の展示コーナー



# 農業用水水源地域保全対策事業の活動報告

7月6日(月)

## 「学校教育等との連携（水の学校）」を開催

会場：伊達郡川俣町「山木屋地区（JA山木屋）他」  
主催：山木屋環境保全協議会

山木屋小学校の4・5・6年生を対象に水の大切さと地域の水環境保全への重要性について学習した。

水質調査や生き物調査では、児童が積極的に参加し、地域生物の再発見を通して、自分が住む地域の水や森林の大切さを実感していた模様です。



水質調査



生き物調査

9月15日(火)

## 「田んぼの学校（in県北）」を開催

会場：伊達市「摺上川ダム他」  
主催：県北農林事務所

福島第四小学校及び福島市立平石小学校の児童を対象に田んぼの学校（in県北）を開催した。

摺上川ダムでの植樹、高子沼では市内産の食材を使用した昼食会、また、水源により育まれた田んぼに、お手製の「かかし」を設置するなど、水源地域の恩恵を実感できる学習でした。



摺上川ダム 植樹風景



かかし 設置風景

8月31日(月)

## 「学校教育等との連携（水の学校）」を開催

会場：伊達郡川俣町「飯坂地区（飯坂小学校、三百川）」  
主催：飯坂資源を守る会

飯坂小学校の5年生を対象に水の大切さと地域の水環境保全への重要性について学習した。

三百川の水質調査では、一つ一つの項目に対して児童同士が協力して取り組み、説明に対して興味深く聞き入っていた。



勉強会



水質調査

9月30日(水)

## 「学校教育等との連携（水の学校）」を開催

会場：田村市船引町「堀越川支流区域」  
主催：船引南小学校

船引南小学校の5年生を対象に水の大切さと地域の水環境保全への重要性について学習した。

堀越川支流の水質調査では、児童同士が協力して取り組み、また、質問には全員が回答するなど興味深く聞き入っていた。



質問状況



水質勉強会

9月5日(土)

## 「東根堰の隧道探検」を開催

会場：福島市岡部「安洞院駐車場」  
主催：水土里ネット福島

東根堰の歴史や森と水の重要性、森が果たすCO<sub>2</sub>削減効果や、動植物の生存に欠かせない水の重要な役割について学習した。

水質検査の後は、約600mの岡本隧道内をボートで下る体験、大柳分水槽を見学し、土地改良施設の役割を理解した模様です。



水質検査



隧道探検

10月14日(水)

## 「松ヶ房ダム施設見学会」を開催

会場：相馬市「松ヶ房ダム管理事務所他」  
主催：そうま土地改良区

子供達（中学生）は、ダム取水塔や管理棟、監査廊内を見学し、農業水利施設の役割や事故の未然防止について学習した。

ダム施設の必要性や規模を知ることができ、また、真っ暗な監査廊内の見学では皆驚いていた様子でした。



松ヶ房ダム管理棟



監査廊内

## 農業用水水源地域保全対策事業の活動報告

10月25日(日)

### 「第13回 三和の里フェスティバル」を開催

会場：いわき市三和町「三和ふれあい館」  
主催：三和の里フェスティバル実行委員会

会場では、フラダンスショーや農産物直売、多種多様な展示・販売等で賑わい、多くの方々が来場されていました。

三和土地改良区ブースでは、水源地域の重要性、必要性をパネル展示やチラシ配布等で啓発活動をしました。



啓発風景



啓発風景

11月8日(日)

### 「第3回 あぶくまふるさとウォーク」を開催

会場：二本松市「道の駅ふくしま東和（あぶくま館）」  
主催：水土里ネット福島

農業用水水源地域の現状を見ることにより、農業に必要な良質な水を確保するために、今やらなければならないこと、また良質な水を確保するための森林の役割・機能について再認識できるコースであったと好評でした。



ウォークスタート！



白髭宿での歴史探訪

10月24日(土)・25日(日)

### 「第34回 福島県林業祭」を開催

会場：郡山市「福島県林業研究センター内」  
主催：福島県林業祭実行委員会

水土里ネット福島は、「森と水の大切なはたらき」をテーマに、林業祭へパネル等を出展。「森や水の役割、その使われ方」などをクイズ形式にして回答者へ記念品を贈呈した。参加者は、水源地域の大切さや農業用水路の長さに関心を示されました。



パネルを見て回答探し



正解者に記念品贈呈

11月14日(土)

### 「あぶくまの水源地を歩こう」を開催

会場：古殿町「古殿町役場、鎌倉岳遊歩道 他」  
主催：水土里ネット福島

農業用水水源地域のウォーキング、講演会、「木」にふれる木工教室の3本立ての内容で開催した。

ウォーキングは、「森の案内人」より地域整備の必要性を聞き、講演会では、福島森林管理署白河支所の方を講師に、「森と水の大切なはたらき」と題した講演を聴講、そして木工教室では、木のぬくもりと楽しく遊べる道具であることを認識するため、自分で制作するよろこび、楽しさに参加者はご満悦の様子でした。



鎌倉岳遊歩道へ到着  
(ウォークスタート)



古殿町鎌倉岳遊歩道

11月1日(日)～3日(火)

### 「会津美里町文化祭(高田)」を開催

会場：会津美里町「高田公民館」  
主催：会津美里町

水土里ネット福島は、「資源循環について」、「森と水の大切なはたらき」をテーマに、パネル出展するとともに木工教室を開校。

循環型社会の必要性を理解されている方が多く、森林の大切さやそこから流れた水の働き・役割等、再確認されていた。



木工体験教室



パンフレット配布



講演を聴講



木工教室風景



抽選会風景



昼食会風景

## 第4回【水土里ウォークin・きたかた2009】を開催

水土里ネット会津北部主催により、平成21年10月18日（日）に「秋の涼風とともに日中ひざわ湖を散策してみませんか」と呼びかけ「第4回水土里ウォークin・きたかた」を開催した。

今回は、日中ダム浪漫公園をスタート・ゴールに行われ、市民ら約120人が参加し、ダム管理事務所や取水塔を見学しながら日中ひざわ湖を巡る6.5kmのコースを楽しみました。

ゴールではお楽しみ抽選会やスタッフが地元の食材で作ったおいしい豚汁を参加者全員に振る舞っていました。



## 第6回【あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォーク】を開催

会津南部地区管理体制整備促進協議会、水土里ネット会津大川主催により、平成21年10月18日（日）に「さわやかな秋風を受けて…」と呼びかけ「第6回あいづみさとまち・郷の道ウォーク」を開催した。

今回は、本郷運動場をスタート・ゴールに行われ、町民ら約110人が参加し、荒井ライスセンター見学、御用地分水庭では「水の大切さ」などの説明を受け、その後、水車の公園を巡る延長6.5kmのコースを楽しみました。

ゴールではお楽しみ抽選会やスタッフが地元の食材で作ったおいしい芋汁やおにぎりを参加者全員に振る舞っていました。



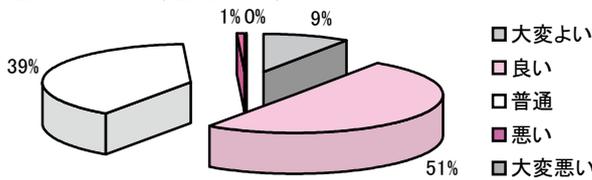
# 水土里ネット福島に対するアンケート調査結果

## ISO9001 顧客満足調査結果 (2008年度)

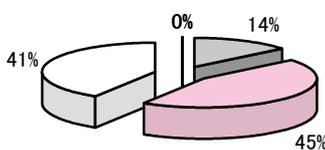
本会では、本会が実施するすべての業務に関してISO9001に基づき顧客満足の向上、技術力及び品質の向上、技術力及び品質の向上を図るためのマネジメントシステムによって業務を実施しています。

業務の着手から納品まで、手順に基づきプロセス監視を行っておりますが、不手際等によって皆様にご迷惑をおかけした場合には、速やかに是正・改善を図るべき対処をまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

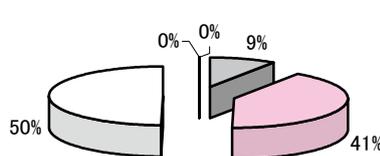
### II. 成果品について (品質は?)



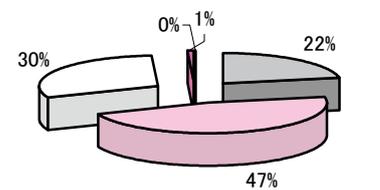
### III. サービスについて (1)~(5)平均



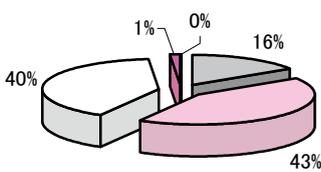
### III (1) 企画提案の対応



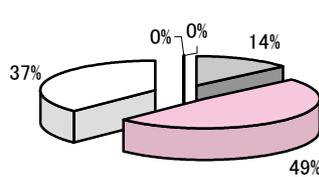
### III (2) 相談(支援)対応



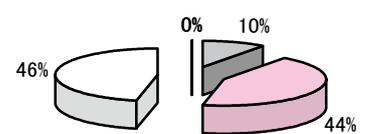
### III (3) 情報提供の対応



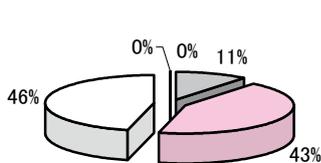
### III (4) 監修(説明)会の対応



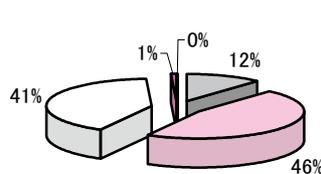
### III (5) 審査対応(会検査)



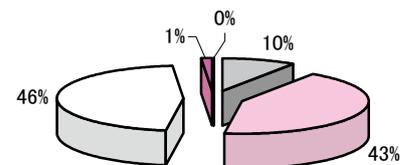
### IV. 打合せについて (1)~(4)平均



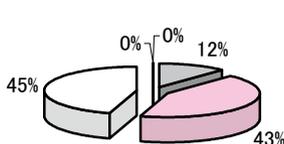
### IV (1) 対応(スピード)



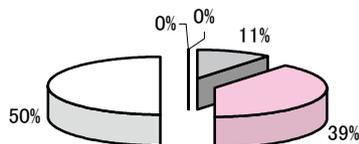
### IV (2) 時期(タイミング)



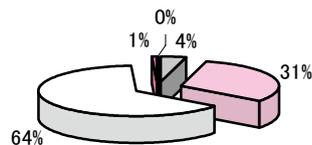
### IV (3) 資料



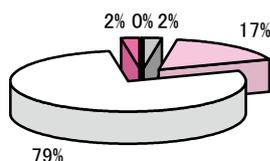
### IV (4) 説明



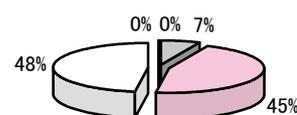
V. 納品について



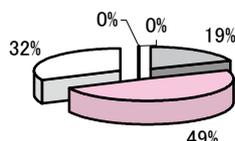
V (1) 工期遵守



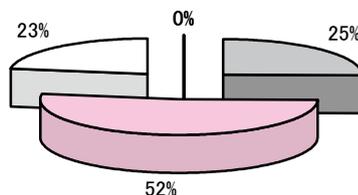
V (2) 説明



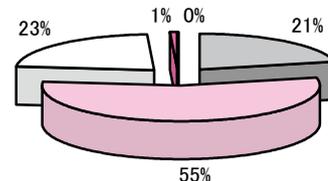
VI. 本会の担当者について



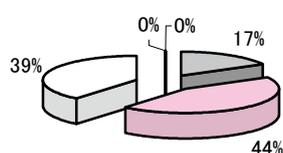
VI (1) 態度・マナー



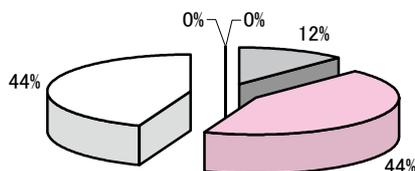
VI (2) 支援・協力



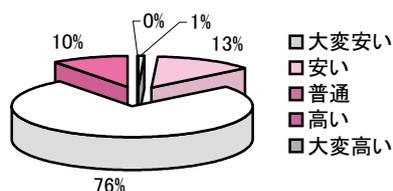
VI (3) 業務の正確度



VI (4) 業務の速度

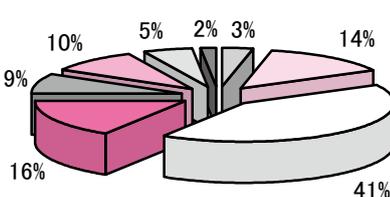


VII. 価格(委託料)について



- 大変安い
- 安い
- 普通
- 高い
- 大変高い

VIII. 今後の事業・制度の新規拡充について(期待・要望)



- 生産基盤整備
- 土地改良区組織員営強化
- 土地改良施設管理支援
- 農地・水・環境保全向上対策
- 資源循環・環境保全対策
- 農村の総合的整備
- 農業集落排水整備
- その他

## 会員様からのご意見等について

(同様のご意見等について、対応は、勝手ながら一括にまとめさせて頂きました。)

ご意見等	本会の対応等
1. 設計全般へのご意見について (着手ー打合せー現地調査ー設計・積算・内部検査・納品まで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工期内に納品ができるよう作業工程や優先順位等の打ち合せの中で明確にし、必要に応じ会内の支援体制を取り、会員のご理解と要望を満足するよう努めます。</li> <li>・ 農業集落排水統合補助事業における処理施設維持管理については、技術的支援、指導についても、積極的に進めていきます。</li> <li>・ 各種台帳については、農道台帳管理だけではなく、今後各種台帳の必要性ならびに、GISの構築とあわせてPRを行ってまいります。</li> <li>・ GISの構築については現在国の事業として進めている「水土里情報利活用促進事業」で整備している筆データを平成23年度より活用可能ですので、ご検討ください。</li> <li>・ 設計全般について、会員の意向を真摯に受け止め、期待に応えられるよう、良き提案者、パートナーとなるよう更に努力してまいります。また、会員との更なるコミュニケーションの充実、各段階での適切な時期での提案、協議、納品に心がけ、信頼の向上に努めてまいります。</li> <li>・ 水利施設の維持更新・ほ場整備後の補完工事の事業等について、新規事業創設の情報を速やかに会員へ周知し事業を執行してまいります。</li> </ul>
2. 本会の運営等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賦課金については、会員の皆様へ予算計上に支障がないよう通知してまいります。</li> <li>・ 研修については、会員の皆様の要望を踏まえながら、継続してまいります。</li> </ul>

# 福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 表彰式並びに活動事例発表会開催

平成21年12月6日（日）午前11時より郡山市「ユラックス熱海」に於て、平成21年度福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会表彰式が開催され、平成20年度優秀活動組織、優良活動組織及び「ふくしま むらの輝き2009」写真・絵画コンテスト受賞者20名が出席して行われた。

茂木会長が優秀活動組織の杉目地域資源保全会（新地町）の水戸好美会長らに賞状や副賞の楯を手渡した。



《絵画低学年部で受賞された皆さん》



《優秀活動組織受賞者と茂木会長》

午後は、東北農政局、福島地域協議会主催による活動事例発表会が開催され、県内外322の活動組織と関係者約1,500名が参加した。

また、事例発表会終了後は、「蘇る日本農業～21世紀農業の道標を求めて～」と題し、経済評論家の内橋克人氏の特別講演が行われ、皆さん真剣に聞き入っていました。



## 【優秀活動組織名】

新地町・杉目地域資源保全会（農地・水向上活動の部）  
福島市・松川地区環境保全事業組合（先進的営農活動の部）  
塙町・里山ネット植田（農村環境向上の部）

## 【優良活動組織名】

浅川町・みのわ環境保全会（農地・水向上活動の部）  
柳津町・柳津町農地・水・環境保全協議会（〃）  
いわき市・永井地区資源保全隊（〃）  
郡山市・川田地区農地・水・環境保全向上対策会（〃）  
南相馬市・益田地域資源保全隊（先進的営農活動の部）  
本宮市・和田3区農地・水・環境保全組合（農村環境向上の部）  
川俣町・小島ふるさとづくり協議会（〃）  
田村市・牧野保全会（〃）  
会津美里町・米沢環境保全委員会（〃）  
会津坂下町・新開津環境保全委員会（〃）  
南相馬市・北海道環境まもり隊（〃）  
会津坂下町・羽林みどり会（〃）

## 平成21年 秋の叙勲

### 旭日単光章に輝く（土地改良事業功労）

**長谷川 道 吉 氏**（会津若松市湊土地改良区理事長）



平成21年秋の叙勲の受章者が11月3日に発表されました。福島県内の土地改良関係では、会津若松市湊土地改良区理事長の長谷川道吉氏が旭日単光章を受章されました。平成12年から理事長に就任し、標高500mを越える湊地区で採算性のある稲作を振興させようと、土壌整備と農作地の拡大に尽力。また、農地集積、集落営農モデルを確立し、農地集積を推進している。

# 土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業について

土地改良事業等の農家負担分を軽減するため、農地の利用集積等を要件に3年間無利子となるよう利子相当額を助成します。

まだ申請していない土地改良区等は、2月上旬までに申請してください。

**【お急ぎください:まもなく締切りとなります】**

## 【内容】

土地改良事業等の農家負担金を償還中の地区であって、農地利用集積の増加等が見込まれる地域に対して、平成21年度～23年度の各年度の年償還金の利子助成を行います。

## 【事業実施主体等】

1. 事業実施主体 全国土地改良事業団体連合会
2. 助成対象地域

土地改良事業等の農家負担金を償還中の地区で、以下の(1)及び(2)の要件を満たす地域に助成額を交付します。

- (1) 農家負担の合算総償還額が一定額以上であること
- (2) 経営所得安定対策加入者などの担い手への農地利用集積の増加が一定割合以上見込まれること

3. 助成額 平成21年度～平成23年度の各年度の年償還金の利子相当額

4. 助成対象組織

2. の要件を満たす土地改良区等

(注) 「水田・畑作経営安定所得対策等支援事業」、「担い手育成農地集積事業」の適用地区は対象外です。

## 土地連日誌

月 日	行 事	開催場所
5月 28日	農業集落排水協議会第18回通常総会及び理事会	大会議室
6月	5日 土地連OB会総会	摺上亭大鳥
	25日 H21年度第1回監事会・第1回理事会	役員会議室
	26日 全国水土里ネット理事会・臨時総会	虎ノ門パストラル
7月	3日 H21全国土地改良功績者等表彰候補の選考委員会	中会議室
	13日～15日 法第132条検査(本省検査)	研修室
	16日～17日 土地改良団体職員連絡協議会第33回総会及び業務研修会	摺上亭大鳥
	16日～31日 H21第1回内部監査開始	各プロセス
	20日 石破農水大臣への要請活動	エルティ
9月	2日～3日 疏水ネットワーク総会及び疏水サミットin熊本2009	熊本市
	10日～11日 土地改良団体職員連絡協議会 視察研修	宮城県
	17日 県議会各党による各種団体要望聴取会(県庁・総務委員会室・他)	県庁
10月	21日 H21第2回監事会並びに中間監査	役員会議室
	27日～29日 全国土地改良大会(大会は28日)	島根県
11月	8日 H22新規採用1次試験	中会議室
	15日～20日 本県へ会計検査(実地検査)	
	19日 土地連へ会計検査(実地検査)	本会
	21日 H22新規採用2次試験	中会議室
12月	1日 提案活動	議員会館
	2日～4日 JQAによるISO9001:2000審査(定期+2008移行)	中会議室
	21日 第3回幹事会及び第2回理事会 役員研修	役員会議室
1月 3日	「農家の皆さんへ」会長の新年あいさつ:ラジオ放送	



県内の土地改良区ホームページをご紹介します。

- 安積疏水土地改良区 <http://www.asakasosui.jp/>
- 会津北部土地改良区 <http://www.aizuhokubu.or.jp/>
- 会津宮川土地改良区 <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- 請戸川土地改良区 <http://www.ukedogawa.jp/>
- 愛谷堰土地改良区 <http://www8.plala.or.jp/aiya/>
- 雄国山麓土地改良区 <http://www.akina.ne.jp/>
- 猪苗代町土地改良区 <http://www8.ocn.ne.jp/~inadokai/>
- 鮫川堰土地改良区 <http://www.geocities.jp/samegawamdr/>

### 土地連の登録内容及び有資格者数

#### 土地連の登録内容 (H21.10.1現在)

登録内容	登録年月日・登録番号
ISO9001:2000/JIS Q 9001:2000 マネジメントシステム登録 	H21.2.16付更新 登録証番号 JQA-QMA13143
建設コンサルタント	H17.12.3付更新 建17第7079号 農業土木部門
一級建築士事務所	H19.4.9付更新 第11(904)1975号
計量証明事業登録	H7.7.3付登録 第環34号
測量業者登録	H17.6.2付更新 登録第(2)-26856号
浄化槽保守点検業者登録	H21.5.14付更新 福島県知事登録第1353号
産業廃棄物処分業	H17.11.18付認定 許可番号0720122234号
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H18.10.16付認定 第0606号

#### 各種有資格者数 (H21.10.1現在)

NO	資格名称	資格人数
測量業者部門	1 測量士	11
	2 測量士補	31
	3 GIS 2級	1
建設コンサルタント部門	4 技術士(農業部門)	2
	5 技術士補(農業部門)	9
	6 技術士補(環境部門)	1
	7 R C C M(農業土木)	11
	8 R C C M(下水道)	2
建築コンサルタント部門	9 1級建築士	1
	10 2級建築士	1
計量証明事業部門	11 環境計量士	1
	12 土地改良換地士	12
換地部門	13 土地改良補償業務管理者	8
	14 上級農業集落排水計画設計士	6
集落排水、維持管理部門	15 農業集落排水計画設計士	1
	16 浄化槽技術管理者	22
	17 浄化槽管理士	23
各部門関連資格	18 土地改良専門技術者	6
	19 1級土木施工管理技士	8
	20 2級土木施工管理技士	3
	21 1級建築施工管理技士	1
	22 1級電気工事施工管理技士	1
	23 第二種電気工事士	1
	24 第三種電気主任技術者	2
	25 1級管工事施工管理技士	1
	26 2級管工事施工管理技士	4
	27 浄化槽設備士	9
	28 公害防止管理者	2

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載することとしました。  
ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp> にて、引き続きご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地